

あま市民病院経営強化プランの点検・評価
(令和 6 年度実績)

令和 7 年 9 月

目 次

1. はじめに	・ ・ ・ ・ ・	1
2. 点検・評価について	・ ・ ・ ・ ・	1
3. 評価方法について	・ ・ ・ ・ ・	1
4. 総評	・ ・ ・ ・ ・	2
5. 経営強化プランの進捗状況及び評価		
医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値	・ ・ ・ ・ ・	3
経営指標に係る数値	・ ・ ・ ・ ・	6
経営強化プラン対象期間（令和6年度）の収支	・ ・ ・ ・ ・	8

1. はじめに

あま市は、令和4年3月に総務省から示された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を受け、令和6年3月に「あま市民病院経営強化プラン」を策定しました。

この経営強化プランの期間は令和6年度から令和9年度までの4年間で、あま市民病院指定管理者評価委員会の中で毎年、点検・評価を行い、市公式ウェブサイトにて公表することとしています。

2. 点検・評価について

令和6年度の点検・評価は、「医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値」、「経営指標に係る数値」、「経営強化プラン対象期間（令和6年度）の収支」の各項目について行います。

3. 評価方法について

計画に対する評価を以下の区分で行いました。

区分	評価の内容
A	計画に達している
B	計画には届いていないが一定の実績がある
C	計画に届いておらず明らかに実績不足

4. 総評

令和6年度は、新たに循環器内科を標榜、歯科口腔外科が本格稼働するなど入院患者数が増加、指定管理者制度導入後で初めて50,000人を超え、外来患者数も大幅な増加となりました。また、手術件数は1,000件を超え、救急車受入患者数が2,000人を超えるなど救急告示病院として急性期医療・救急医療に貢献できています。これらのことから、海部東部地域の基幹病院として市民病院に対する需要が高まっていることが分かります。こうした利用状況の増加に伴い、指定管理者の令和6年度の入院収益と外来収益等を合わせた事業収益は計画には届かなかったものの、初めて34億円を超えました。

一方で、循環器内科・歯科口腔外科開設への初期投資や、物価高の影響から診療材料の仕入れに係る経費が増加したため、指定管理者の令和6年度の事業費用は37億円を超え、事業費用が事業収益を上回り事業損失を計上しました。

しかし、令和7年度は新たに皮膚科を標榜予定のため、病診連携を強化しながら更なる利用状況の増加を見込んでいます。

5. 経営強化プランの進捗状況及び評価

【医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値】

【評価区分】 A…計画に達している

B…計画には届いていないが一定の実績がある

C…計画に届いておらず明らかに実績不足

		令和6年度		(B)－(A)	評価 区分	評価所見
		計画(A)	実績(B)			
医療機能に係るもの	救急車受入患者数(人)	2,400	2,167	△233	B	前年度より件数は減少したが、令和3年度以降は毎年度2,000件超の受入れを継続している
	救急車応需率(%)	94	77	△17.0	B	時間外及び休日の救急応需において救急要請が重なると医師1人体制により受入れができないため応需率が低下
	訪問診療件数(件)	240	230	△10	B	訪問診療に係る医師が1人体制のため件数が計画ほど増加せず
	訪問看護件数(件)	720	749	29	A	看護師1人増員のため件数増加 専用車1台も配置できた
	リハビリテーション提供単位数(単位)	140,000	125,988	△14,012	B	循環器内科(心リハ)の患者が増加したが、上限提供単位数が少ない3単位と運動器リハ等より少ないため全体の提供単位数は減少した
	栄養指導件数(件)	850	807	△43	B	栄養指導を行う管理栄養士が産休に入ったため件数が減少

		令和 6 年度		(B) - (A)	評価 区分	評価所見
		計画 (A)	実績 (B)			
	嚥下訓練施行回数(回)	5,300	12,839	7,539	A	歯科口腔外科や術前患者を中心に対象患者が増加したため
	手術件数(件)	800	1,062	262	A	歯科口腔外科や循環器内科が増加に影響
医療の質に係るもの	在宅復帰率(%)	88	80.5	△7.5	B	療養型病院や老人保健施設への転院患者が計画よりも上回ったため
	患者満足度(%)	95	89	△6.0	B	入院では高い満足度を得たが、外来では満足度が高くなかったため
	インシデントレポート件数(件)	1,000	929	△71	A	医療安全に係る職員研修や情報共有が行われ件数を抑えることができた
	アクシデントレポート件数(件)	25	15	△10	A	医療安全に係る職員研修や情報共有が行われ件数を抑えることができた
	転倒転落発生率(%)	0.37	0.33	△0.04	A	医療安全に係る職員研修や情報共有が行われ発生率を抑えることができた
連携に係るもの	紹介率(%)	65	66.3	1.3	A	病病連携や病診連携の強化を図る中で、歯科口腔外科や循環器内科など専門診療科の増加も計画どおりの紹介率となった要因である

		令和6年度		(B) - (A)	評価 区分	評価所見
		計画(A)	実績(B)			
	逆 紹 介 率 (%)	75	76.9	1.9	A	病病連携や病診連携を強化を図る中で、外来患者数が増加したため、逆紹介率も増加した
	ポスト・ア キュート 入院数(人/ 月)	40	27.3	△12.7	B	病病連携や病診連携の強化を図る中で、専門診療科が増加したため、入院患者の急性期患者割合が増加したため
	サブ・アキ ュート 入院数(人/ 月)	35	47.8	12.8	A	病病連携や病診連携の強化を図る中で、歯科口腔外科や循環器内科など専門診療科が増加したため
その他必要な数値目標	健康診断件 数(件)	2,700	1,872	△828	C	がん検診、企業健診の実施件数が計画よりも減少したため
	予防接種件 数(件)	1,250	892	△358	C	新型コロナワクチン接種の件数が見込みよりも大幅に減少

【経営指標に係る数値】

【評価区分】 A…計画に達している

B…計画には届いていないが一定の実績がある

C…計画に届いておらず明らかに実績不足

		令和6年度		(B)－(A)	評価 区分	評価所見
		計画(A)	実績(B)			
収支改善に係るもの	経営収支比率 (%)	101.4	98.6	△2.8	B	人件費の上昇と物価高騰により医業費用が見込みよりも増加したため
	医業収支比率 (%)	97.3	93.0	△4.3	B	人件費の上昇と物価高騰により医業費用が見込みよりも増加したため
収入確保に係るもの	1日あたり入院患者数(人) ※稼働率で計算	145.0	151.7	6.7	A	医師数の増加や手術件数の増加、救急患者の受入を積極的に行ったため
	入院診療単価 (円/日)	48,000	51,166	3,166	A	手術件数が増加したため
	病床稼働率 (%) [全体]	80.6	84.3	3.7	A	医師数の増加や手術件数の増加、救急患者の受入を積極的に行ったため
	平均在院日数 (日)	18.0	15.7	△2.3	B	入院診療計画に沿った治療を行う事ができたため平均在院日数の短縮を実現した
	1日あたり外来患者数(人)	220.0	239.9	19.9	A	診療科の増設（歯科口腔外科・循環器内科）により患者数が増加

		令和6年度		(B) - (A)	評価 区分	評価所見
		計画(A)	実績(B)			
	外来診療単価 (円/日)	11,000	11,246	246	A	診療単価が比較的に低い 歯科口腔外科の患者が増加したため微増に留まった
経費削減に係るもの	材料費の対事業収益比率 (%)	8.5	16.0	7.5	B	物価高騰の影響で診療材料等の仕入れ値が高騰した
	薬品費の対事業収益比率 (%)	6.5	6.2	△0.3	A	協会本部の一括購入で薬品費が圧縮できた
	委託費の対事業収益比率 (%)	12.0	12.0	0.0	A	医業費用の圧縮に努めている
	後発医薬品使用割合(%)	94.0	96.0	2.0	A	後発医薬品を積極的に採用している
経営の安定に係るもの	医師（常勤数） (人)	17.0	24.0	7	A	医師数がさらに増加するように引き続き取り組む
	看護職（常勤数） (人)	113.0	104.9	△8.1	B	看護師数がさらに増加するように引き続き取り組む
	医療技術職(常勤) (人)	77.0	78.9	1.9	A	不足している理学療法士や薬剤師等は特に人材確保に努めていく

【経営強化プラン対象期間（令和６年度）の収支】

【評価区分】 A…計画に達している

B…計画には届いていないが一定の実績がある

C…計画に届いておらず明らかに実績不足

	令和６年度		(B)－(A)
	計画(A)	実績(B)	
事業収益 (①)	3,583,768 千円	3,448,263 千円	△135,505 千円
入院収益	2,888,793 千円	2,777,170 千円	△111,623 千円
外来収益	640,800 千円	638,362 千円	△2,438 千円
保健予防活動収益	40,689 千円	23,085 千円	△17,604 千円
その他収益	13,485 千円	9,646 千円	△3,839 千円
事業費用 (②)	3,683,826 千円	3,723,296 千円	39,470 千円
給与費	2,011,385 千円	2,001,195 千円	△10,190 千円
材料費	537,565 千円	552,771 千円	15,206 千円
委託費	430,052 千円	415,903 千円	△14,149 千円
設備関係費	445,178 千円	489,970 千円	44,792 千円
経費	259,647 千円	263,456 千円	3,809 千円
事業利益 (③) (①－②)	△100,059 千円	△275,032 千円	△174,973 千円
事業外収益 (④)	180,000 千円	223,932 千円	43,932 千円
事業外費用 (⑤)	28,388 千円	1,453 千円	26,935 千円
経常収支 (①＋④)－(②＋⑤)	51,553 千円	△52,554 千円	△104,107 千円

評価区分	評価所見
B	令和６年度は事業収益が計画には届いていないが、指定管理制度導入以降で最高となり、直営時から事業収益が右肩上がりに増加していることは大きく評価できる。一方で、事業費用は人件費の上昇と物価高騰により計画よりも増加し、事業収益を上回ったため事業損失となった。しかし、病院機能で見れば医師の増加、診療科の拡充、手術件数が増加するなど確実に成長を遂げて市民に信頼されていることが分かる。

愛知県あま市